

令和4年度（2022年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

民 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和4年度（2022年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	民	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（10点）

「原始的不能」について、関連条文をあげて、簡潔に説明しなさい。

問題2（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

1. Xは、Yの父Aから、Y所有の甲不動産を買い受けた。これは、Aが自己の借金を整理するためにその所有する乙不動産をXに売渡した際に、Yを代理する権限がないにもかかわらずYの代理人として、Y所有の甲不動産をも同時に売渡したものであった。
2. Aは、Yの代理人としてAX間で売買契約を締結するに際して、自己に代理権がないことを認識していた。
3. Xは、AX間で売買契約を締結するに際して、取引上、通常要求される調査確認を怠っていたために、AがYから代理権を授与されていないことを知らなかった。
4. その後、Aが死亡して、Yが唯一の相続人として、Aを相続し、単純承認した。
5. Xは、売買契約に基づいて、Yに対して甲不動産の明渡しおよび所有権移転登記手続に協力するよう裁判外で求めたが、Yはこれを拒絶した。

[問い]

【事実】1から5を前提として、Xは、Yに対して、何を請求することができるかについて論じなさい。